

事業名	臓器移植等推進体制整備費			調書番号	35
細事業名	臓器移植推進普及啓発事業費	財務コード	467302		
担当部課室	福祉保健 部 医務 課 医療企画 担当 (内線)	3405			

I 事業の概要

実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助((公財)山梨県臓器移植推進財団)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民に	臓器移植について認識している	臓器移植意思表示カードを所持する等の方法により、意思表示している。 臓器移植について家族と話し合っている
内容	○事業概要 ・臓器移植に関する知識の普及及び啓発に関する事業、臓器移植希望者の登録・あっせんに関する事業に対する補助 ・臓器移植推進普及推進月間街頭キャンペーン事業に対する補助 H24 7500部、H25 7500部、H26 7950部、H27 7000部、H28 8900部 ・角膜移植に関する知識の普及及び啓発に関する事業、角膜提供者の登録・あっせんに関する事業に対する補助((公財)山梨県アイバンク) ・県民の日普及啓発		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	目標	14,992	14,992	14,992	14,992	14,992	14,992	14,992
	実績(見込)	14,600	14,700	13,830	14,730	17,100	15,000	
	達成率	97.4	98.1	92.2	98.3	114.1	100.1	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		1,150	1,150	1,175	1,150	1,208	1,238	1,238

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	ドナー登録制でなく県民の意思表示の状況を把握することが難しいこと、さらに法改正により本人の意思が不明な場合であっても家族が書面により承諾すれば移植可能となったこともあり、定量的な指標化が困難となっているが、臓器移植についてより多くの県民に認識してもらう必要があり、臓器提供意思表示カードや臓器提供関係リーフレットの配布を行う等により、年間を通して普及啓発活動を実施し続けることで着実な成果をあげている。
成果指標			

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	これまでに啓発活動を実施していない催事への参加や、働きかけを行っていない事業所への協力依頼等により成果を上げることが可能である。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	これまでに啓発活動を実施していない催事への参加や、働きかけを行っていない事業所への協力依頼等、働き掛けの対象を見直す		

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	臓器移植推進月間である10月に十箇所程度の商業施設等において実施している街頭キャンペーンについて、より多くの県民に臓器移植に対する理解を深めてもらうため、関係団体と協議の上、実施場所等についてより効果的な活動となるように見直したうえで実施する。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。